

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005年3月 2日作成)

委員会名	住宅需要構造小委員会	主 査 名：木内 望
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：嘉納成男
設 置 期 間	2003年 4月 ～ 2005年 3月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>本小委員会は、住まい手側の変化によって、住まいの立地、住戸形態、広さ、部屋構成、設備等への要求がどのように変化するかを明らかにし、それに応えられるストックはどのように存在し、どのような不足が生じるかの検討を行い、さらに、これらの変化のもとであるべき設計論、制度論について研究を進める。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>浅見泰司 (東大)、伊藤史子 (新潟大)、加納国雄 (不動産研)、木内望 (国交省国土技術政策総合研究所)、橘田洋子 (リビング・デザインセンター)、志岐祐一 (日東設計)、瀬川祥子 (UFJ総研) 田中勝 (山梨大)、生田目裕 (東京都宅建業協会)、藤岡泰寛 (横浜国大)、松本真澄 (都立大)、吉川徹 (都立大)、頼あゆみ (国交省国土交通政策研究所)、米野史健 (国交省国土技術政策総合研究所)</p>	
設置 WG (WG名:目的)		
2004 年度予算	70,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>2004/4/24 7名 2004/12/5 9名 2005/2/ 7名</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 住宅の需要は、単身世帯の増加、少子化、女性のライフスタイルの変化、という近年顕著にみられる社会構造の変化と密接に関連する。これらの視点による実証統計分析等を有志メンバによる共同研究という形態で進めている。</p>
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係) 2004 年度は研究計画をもとに (財) 家計経済研究所の「女性の消費生活に関するパネル調査」のデータ利用申請を行い、審査を経てデータ貸与を受けた。</p>

その他評価すべき 事項	
----------------	--